

令和5年7月14日

保護者の皆様へ

柏原市立国分中学校
校長 岡田 圭司

気象警報発令時における非常災害時の対応について

柏原市に警報発令時及び非常災害時の登下校等の対応については、令和5年4月11日付けでお知らせしたところですが、柏原市教育委員会における対応が一部変更されたことから下記のとおり取り扱いを一部改訂いたしましたので、ご家庭におかれましてもご理解をいただき、ご対応くださいますようよろしくお願い申し上げます。なお、地震による非常災害時の対応（裏面）についての変更はございません。

記

1. 気象警報発令時の対応について

①柏原市に午前7時の時点で、大雨警報、暴風警報、大雪警報、暴風雪警報、特別警報（大雨、暴風、大雪、暴風雪が対象）のいずれかが発令されている場合は、自宅待機とします。

※「大雨警報（土砂災害）」「大雨警報（浸水害）」「大雨警報（土砂災害、浸水害）」のように発表されます。全て大雨警報として取り扱います。

※午前10時までに対象となる警報・特別警報が発令される見込みがある場合は、登校を見合わせる場合があります。

②午前10時までに、対象となる警報・特別警報がすべて解除された場合は、通学路等の安全を考慮して登校させてください。

※ （給食は、原則通常通り実施し、午後からも授業を行います。）

③午前10時の時点で、引き続き対象となる警報・特別警報が発令されている場合は、臨時休校とします。

④登校後、柏原市に対象となる上記の警報・特別警報のいずれかが発令された場合は、気象情報を考慮するとともに国分小学校と協議の上、安全面を十分考慮し、下校させます。

【注意点】

大雨警報については、1～2時間で解除となる場合が相当数あるため、大雨警報の発令時刻や気象庁の発表するデータにより予想される解除時刻などを勘案して授業を継続する場合があります。（学校において状況を判断し対応します）

⑤登校後に、柏原市が避難勧告、避難指示を発令した場合、対象地域の生徒については学校で待機させ、保護者への引き渡しにより下校させます。（保護者はできる限り速やかに迎えに来てください）対象地域以外の生徒については、通学路などの安全面を十分考慮して下校させます。

2. 地震による非常災害時の対応について

気象庁(大阪管区气象台)より、**大阪府北部**または**柏原市**に地震の発生が発表された場合には、下記のとおり対応していただくようお願いいたします。ただし、柏原市の震度を優先し対応します。

	震度4以下 原則、通常通り	震度5弱以上 臨時休校園
状況	電灯などの吊り下げ物は大きく揺れ、棚になる食器類は音を立てるような状況。 電線が大きく揺れたり、歩いていても地面の揺れを感じる状況。	吊り下げ物が激しく揺れたり、棚の食器類や書棚の本が落ちたり、家具が転倒したりするような状況。 ブロック塀が倒れたり、窓ガラスが割れて落ちる。また、立っていられないほどの揺れを感じる状況。
在宅時 登校前	津波の河川遡上が考えられるので、津波警報や注意報が解除されるなど、状況が確認できるまで自宅待機。 保護者が安全確認後、校園へ登校する。	臨時休校園とする。 職員は、在宅の児童生徒の安否確認を行う。
登校途中	壁や電柱などから離れ、なるべく広い場所にすぐ避難する。 揺れがおさまった後、校園へ移動する。 職員は校区巡視を行い、危険箇所がないかどうか点検するとともに児童・生徒を校園へ誘導する。	壁や電柱などから離れ、なるべく広い場所にすぐ避難する。 揺れがおさまった後、家が近い場合は家へ、校園が近い場合は校園へ移動する。 職員は校区巡視を行い、危険箇所がないかどうか点検するとともに児童・生徒を誘導する。
在校時	必要に応じて校庭に避難する。 異常がなければ授業を再開する。 必要に応じて通常の下校時間に地区別で集団下校させる。	必要に応じて校庭に避難する。 保護者が迎えに来るまでは校園に待機させ、保護者等に引き渡す。 保護者にはできる限り速やかに迎えにきてもらうが、どうしても来れない場合は校園で待機させる。
下校途中	壁や電柱などから離れ、なるべく広い場所にすぐ避難する。 揺れがおさまった後、自宅へ移動する。 職員は校区巡視を行い、危険箇所がないかどうか点検するとともに児童・生徒を誘導する。	壁や電柱などから離れ、なるべく広い場所にすぐ避難する。 揺れがおさまった後、家が近い場合は家へ、校園が近い場合は校園へ移動する。 職員は校区巡視を行い、危険箇所がないかどうか点検するとともに児童・生徒を誘導する。
備考	校園や地域の被害状況により、子どもの安全確保を最優先し、臨時休校園等とする場合もある。 各家庭で、保護者が地震が起きた場合についての行動について確認するよう指導する。	登下校時地震に遭遇し、学校に来た場合は学校で保護し、保護者にできる限り速やかに校園に迎えに来てもらう。 休みの日に発生した場合、次の登校日は学校から何らかのお知らせがあるまで自宅待機とする。 ただし、校園は校区の安全が確認できれば、市教委に報告・協議した上で保護者にお知らせをする。

※登下校中に地震が発生した場合に備え、児童とともに通学路の危険箇所や対処の仕方について

一緒に歩きながら確認するなどの機会を作っていただくよう、保護者への指導をお願いいたします。